

第17回 ウルトラ FM 番組審議会

1 開催年月日

令和4年12月21日(水) 10:00~11:00

2 開催場所

須賀川市民交流センターtette ルーム4-3

3 委員の出席

委員総数 6人

出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名

堀江祐介 (会長)

安藤清美 (副会長)

村上空織

横山知佳

久保木彩歌

真壁正人

(2) 欠席委員の氏名

なし

(3) 放送事業者側出席者

菊地大介 (代表取締役)

柳沼宏延 (放送局長)

4 あいさつ

(堀江委員長)

新型コロナウイルス感染状況がピークを迎え、年明けには終息するのではと思う。感染しやすい状況は続きますが、皆さん気を付けて頂ければと思う。代表取締役である菊地さんは、10月の会議所の臨時議員総会で会頭になったので、皆さんでサポートできればと思う。

(菊地代表取締役)

ウルトラ FM は来年1月11日で5年目を迎える。5年目になり、番組全体の見直しを行う。開局2年目で台風や地震、新型コロナウイルスと災害が続き、この5年間は災いの5年間だ

った。これらの経験を今後の番組制作に活かしていければと思う。今、須賀川の話は大相撲の高橋ですが、初場所では幕下となり、次は十両となるので、ウルトラFMでも応援していきたいと思う。また、福島空港と沖縄との直行便の運航を目指しているところですが、FMとして沖縄にあるラジオ局との交流を行いたいと考え、さらには大阪や岩手県の花巻のラジオ局との交流も考えているので、よろしくお願いします。

5 議題

(1) 特別放送「さよなら！ながぬま一周駅伝～第61回ながぬま一周駅伝競走大会～」

(11月23日放送分)について

(2) その他

6 議事の概要

(1) 特別放送「さよなら！ながぬま一周駅伝～第61回ながぬま一周駅伝競走大会～」

(11月23日放送分)について事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(村上委員)

今回の放送まで、ながぬま一周駅伝大会を知らなかった。それも61回も続けられ、運営は大変だったと思う。番組を通じてオリンピックで活躍した相澤選手の大会の思い出や走る強さを感じたほか、大会概要が伝わった。また参加者の楽しさも感じる内容だった。

(安藤副委員長)

番組の進行が良かった。昭和32年から開催され、61回の思い出を聞いた。はじめは行政区からスタートし、今後は藤沼湖一周駅伝として生まれ変わる。相澤選手のコメントや参加者の思いなどが伝わった。

(久保木委員)

私は円谷幸吉メモリアルマラソン大会しか知らず、今回の番組を通じて大会の歴史を知ることが出来た。駅伝をラジオで聞くと飽きるが、相澤選手の小さいときから参加していたことの思い出などが伝わった。できれば、駅伝大会の通過点での様子もあれば良かったと思う。

(横山委員)

集団での大会である駅伝が無くなることは、長沼として寂しいが、次は新たな大会として行うことは楽しみ。参加者から寄せられたコメントもとても良かった。

(堀江委員長)

番組の進行が良かった。相澤選手の話聞いて良かった。前の東京マラソン大会のあとに円谷

幸吉選手と走る大会があるが、それより先に長沼で駅伝大会が開催されていたことに驚いた。ラジオで駅伝大会の記録を残すのは大切。とても良い番組だった。

(真壁委員)

これまで、この大会を知らなかった。61回も開催されていたことに驚いた。須賀川の知らないことがあることをラジオで知った。歴史がある大会として、今後は新たな大会として生まれ変わることを知ったので、ラジオを通じて須賀川にいなながらも知らないことを伝える番組を制作してほしい」

(2) その他

(横山委員)

先日の新潟の柏崎での大雪で情報の大切さを感じた。リスナーから雪による交通情報などを呼びかけていると思うが、どんな状況ですか

(柳沼放送局長)

交通情報等については、交通管制センターや土木事務所等と連携し、何かあれば放送している。先日、須賀川市内は雪による交通マヒがあったが、そのときも各機関より頂いた情報をもとに交通情報を伝えたほか、リスナーより今起きている交通渋滞に関する情報もありました。災害に関する情報は今後も、呼びかけていきます。

(久保木委員)

ウルトラ FM で放送された番組を聞き逃すことがある。聞き逃しても再度聞くようなシステムがあればいいが導入予定があるか。

(柳沼放送局長)

現在、ウルトラ FM はサイマル放送のみだが、聞き逃し対策としてシステムの導入の検討を図っているところ。

(横山委員)

娘が北海道でブラックアウトを経験した話で、停電で真っ暗になったとき、人の声を聴きたくなる。特に故郷、地元の声を聴きたかったと話した。

(菊地代表取締役)

皆さんに3つの事を話したい。一つは、現在の須賀川市歌は合併前の歌。平成の合併により長沼と岩瀬を市歌に入れてほしいとの声があり、FMで、新たな市歌を制作したいと考えている。二つは、福島と沖縄との交流を進める会長として沖縄に行った際、東日本大震災以前の沖縄は福

島県のお米が多く消費されていた。これは、第2次世界大戦後の食糧不足で福島県は多くのお米を送ったことが大きくあり、その後の沖縄での食料不足の際も同様に送るなど交流があることが大きく関わっている。その中で、福島空港と沖縄との直行便の動きには航空会社の動きが大切で、沖縄との交流が大切である。現在、福島で沖縄のモノがあまりないので、須賀川でも沖縄の交流を盛り上げる動きを行いたい。3つ目は、ウルトラ FM が5年経つ中で、須賀川の情報を伝えているラジオのメディアの強みを生かし、メディアミックスが求められ、これが出来るのはウルトラ FM だと思う。

(柳沼放送局長)

皆さんの意見を今後の番組運営に反映していきたい。

7 報告

事務局の柳沼局長から、番組の一部改編及び、今後の特別番組放送内容について説明が行われた。

8 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

9 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和4年12月27日

10 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・令和5年3月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。